

Press Release

2017年12月25日
トランスコスモス株式会社

トランスコスモス、社員5人が「SOMPO パラリンアートカップ 2017」で入賞

日本プロサッカー選手会賞に宇那木 楓、高橋陽一賞に寶谷 優、ほか3人入賞

トランスコスモス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長兼 COO:奥田昌孝)の社員5人が、「SOMPO パラリンアートカップ 2017」において入賞しました。宇那木 楓が日本プロサッカー選手会賞、寶谷 優が高橋陽一賞を受賞し、ほか3人が入賞しました。



パラリンアートは、「障がい者がアートで夢を叶える世界を作る」をコンセプトに、障がい者アーティストと“ひとつのチーム”になり、アート事業を行っています。「SOMPO パラリンアートカップ 2017」は、サッカーとバスケットボールを題材に障がい者によるアート作品を募集するもので、2016年から開催されています。トランスコスモスからは、障がいがあるデザイナー(本社管理総括管理本部ノーマライゼーション推進部所属)が応募し、応募758作品から5人が入賞しました。表彰式は12月13日(水)に東京都千代田区の有楽町朝日ホールで行われました。

●日本プロサッカー選手会賞

氏名 : 宇那木 楓(うなき かえで)

作品名:「日の丸」

●高橋陽一賞(漫画家)

氏名 : 寶谷 優(ほうたに ゆう)

作品名:「昔の思い出」



●入選

氏名 : 望月 悠加(もちづき ゆか)

作品名:「諦めずに進めば勝利あり」



●損保ジャパン日本興亜賞

氏名 : 渡邊 歩惟(わたなべ あい) / 長谷川 沙英(はせがわ さえ)

作品名:「ヒーロー」 / 「ヨロコビ」



※ 望月悠加は、「損保ジャパン日本興亜賞」も同時受賞

■「SOMPO パラリンアートカップ 2017」(<http://www.asahi.com/sports/events/pacup/>)

「障がい者がアートで夢を叶える世界を作る」そんなパラリンアートの想いをスポーツの力で応援するのが「パラリンアートカップ」です。昨年度、「パラリンアート・サッカーアートコンテスト」として誕生。障がい者が持つ力を表現し、世間に広めるプロジェクトは、2回目となる今年度、バスケットボールにもテーマを広げ、名称も改めました。本コンテストは、日本プロサッカー選手会、日本バスケットボール選手会をはじめ、サッカー界とバスケットボール界に協力していただきます。

「障がい者手帳」または「障がいを証する診断書の写し」をお持ちの方であれば、どなたでも参加できます。

■トランスコスモスの障がい者雇用について

「障がいの有無に関わらず、すべての社員がともに働き、それぞれの個性と実力を発揮できる。」

トランスコスモスでは、それが企業の当然のあり方であると考えています。企業とは個性や性格の異なる人々が集まる場所であり、その多様性が優れた企業文化を育むという信念をもっています。これまでトランスコスモスには、聴覚、視覚、上肢、下肢、内部障がい、精神障がいなど、さまざまな障がいをお持ちの方が多数入社しており、各現場で力を発揮しています。また、全社的に障がいをもった社員をサポートするための仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。

※トランスコスモスは、トランスコスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です

※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

(トランスコスモス株式会社について)

トランスコスモスは1966年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト削減と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界33カ国・177の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模でのEC市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界49カ国の消費者にお届けするグローバルECワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL: <http://www.trans-cosmos.co.jp>)